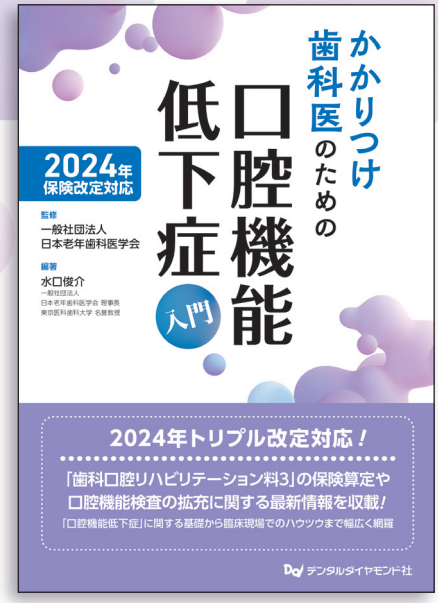
2024年保険改定対応！ 口腔機能低下症の最新情報をお届け!!



かかりつけ歯科医のための 口腔機能低下症 入門

【監修】一般社団法人日本老年歯科医学会
【編著】水口俊介 一般社団法人日本老年歯科医学会 理事長／東京医科歯科大学 名誉教授

2024年トリプル改定対応！

「歯科口腔リハビリテーション料３」の保険算定や口腔機能検査の拡充に関する最新情報を収載！

詳しい情報はこちら



2018年4月に保険導入された口腔機能低下症は、適用範囲が50歳まで引き下げられるなどの変化を経て、広く周知されるようになりました。そして、2024年のいわゆる“トリプル改定”においても、口腔機能低下症の保険算定について、新設された「歯科口腔リハビリテーション料3」が算定可能になったり、オーラルフレイルの概念が更新されるなど、大きな変化がみられます。今回、第4版となる本書は、これらの内容を盛り込んだかたちになっています。本分野のフロントランナーである先生方により書かれた確かな情報を、ぜひお役立てください。

B5判・144頁・オールカラー　本体6,600円+税

CONTENTS

1章　口腔機能低下症とは
「口腔機能低下症」への対応が求められる時代背景
健康長寿の鍵は“食力”
人生100年時代におけるオーラルフレイル予防　他

2章　口腔機能低下の診断基準となる7項目
口腔衛生状態不良
口腔乾燥
咬合力低下
舌口唇運動機能低下　他

3章　口腔機能低下症の管理と多職種連携
「口腔機能低下症」の患者管理と再評価の流れ
訪問歯科診療における取り扱い
低栄養の診断方法とその対応
口腔機能管理における歯科衛生士の役割　他

4章　保険診療での検査と口腔機能管理
保険算定時のポイント
効率的な検査・管理法

デンタルダイヤモンド社